

新刊書籍ご高評のお願い

Strategy For The Age of Knowledge-Origination

# 戦略の経営学

—日本を取り巻く環境変化への解—

高橋琢磨著

「世界と日本の戦略論を渉猟しながら、一つの体系になっているのが驚きだ。

企業戦略論の新しいテキストとなるう。」

一橋大学名誉教授 野中郁次郎氏推薦

ポーターを疑うことから、戦略策定をはじめよ。本書はポーター理論を紹介しつつ、時代変化、理論深化、数々の批判や新しい視点の登場によって、ポーター戦略論自体が変容せざるをえない状況を記述しながら、現代の世界および日本で求められる戦略の方向性と詳細を多角的に提示する。

企業間でなぜ業績の違いが出るのか、その原因を究明し、どのようにすれば企業が持続的に好業績を残せるのか、そのロジックを追求するのが企業戦略論だといってもよい。しかし、企業経営は、これだという決め手を容易に引き出せるほど単純ではない。同様に、経験的知識だけで処理できるものでもない。中長期的な企業業績は与えられた環境の中で企業がどんな思考行動をとるかで決まってくる。

本書は、新しい時代に適合していこうという人々に対して、企業の置かれた環境を整理し、多角的な視点、戦略オプションを得るための手段を提示するテキスト。混迷する世界の中で、企業の置かれた環境を整理し、これまでの日米欧を中心とした企業戦略論を再整理したうえで、著者の新しい視点を打ち出す。

ポーターも、リソース・ベースト・ビューも、ブルー・オーシャンも日本の戦略論もすべてこの一冊で。

本書は理論的ではあるが、学生や初学者は理論の細かな点は読み飛ばし、豊富な事例から理解していくことが可能。そこから失われた20年の総括と、副題の「環境変化への解」が浮かびあがってくる。

発売日：2012年12月13日

ISBN 978-4-478-003817

404頁 定価（本体4200円＋税）

**対象** 企業戦略、経営戦略、製品開発に従事している研究者、実務家。学生。戦略に関心のある人。

## 【著者】

高橋琢磨(たかはし・たくま)

1943年岐阜県生まれ。慶應大学経済学部卒業。カリフォルニア大学バークレー・ハース校修了(MBA)。2007年、中央大学大学院商学研究科(論文博士)。1966年野村総合研究所入社、金融調査室長、ロンドン支店長、経営開発部長、研究開発センター主席研究員。2000年北海道大学大学院客員教授、2002年中央大学大学院教授を経て、現在は明治学院大学非常勤講師、国際協力機構(JICA)の政策投資案件に関し、第1次～第4次の株式処分評価委員会委員長を務めている。著書に『マネーセンターの興亡』(日本経済新聞社)、『戦略部品への挑戦』(日本経済新聞社)、『金融はこれからどう変わるのか』(金融財政事情研究会)、『中国市場を食い尽くせ』(中央公論新社)、『知的資産戦略と企業会計』(弘文堂)などがある。

## 目次

- 序章◎ポーターの競争戦略論を疑え
- 第1章◎日米の対比で見る戦略論の展開
- 第2章◎ポーターの業界分析モデルの解体
- 第3章◎分離したモノづくり、価値づくり
- 第4章◎新技術・規制緩和が与える既存企業への衝撃
- 第5章◎ドメイン価値を生かす「集中と選択」
- 第6章◎異次元の「差別化」を図るべき時代
- 第7章◎学習を超えるナレッジ・オリジネーション
- 第8章◎標準化戦略は脱「ガラパゴス化現象」策
- 第9章◎グローバル・ダイナミックスへの挑戦
- 第10章◎価値づくりに照準を合わせた組織と企業
- 第11章◎高まる買収・アライアンスの役割
- 第12章◎多角化戦略と本社の役割
- 終章◎企業戦略の品格とは何か

【本書に関するお問い合わせは下記までお願いいたします】

〒150-8409 東京都渋谷区神宮前6-12-17  
株式会社ダイヤモンド社  
書籍編集局第一編集部 副編集長  
木山 政行(きやま・まさゆき)  
TEL: 03-5778-7232 FAX: 03-5778-6618  
kiyama@diamond.co.jp